



運行状況報告書

(令和6年10月1日～7年3月31日)

令和7年4月10日

浜松市地域公共交通会議 会長 様

所在地 浜松市中央区庄内町14-5

運送主体名 庄内地区社会福祉協議会

代表者名 会長 安間 清弘



以下のとおり報告します。

報告事項	報告内容		備考(提示書類)
会員登録者数	91人		(会員一覧)
使用車両数	バス (乗車定員11人以上)	両	()内には軽自動車 自動車登録簿 (参考様式第1号)
	普通自動車 (乗車定員11人未満)	20両 (6)	
	合計	20両 (6)	
損害賠償措置状況			
運送の対価	別添「料金表」のとおり		
運転者数	20人		運転者台帳(参考様式ロ号)
研修、講習等の実施状況	交通空白地有償運送運転者講習 20人受講		令和5年9月24日、25日 令和6年3月3日
管理運営体制	別添「運行管理の体制等を記載した書類」(様式第7号)のとおり		
輸送実績	運送回数	218回	
	運送人員	230人	
	収入	94,700円	
事故発生件数	0件(うち 件は発生時に報告済み)		
苦情件数	0件(うち 件は発生時に報告済み)		

運行状況報告書にかかる提示書類確認書

(令和6年10月～令和7年3月末分)

報告事項	提示書類	確認欄	特記事項又は提案事項等 (前回との相違点)
会員登録者数	会員一覧	✓	対象期間 (R6.10.1～R7.3.31) 12人増 確認済み
使用車両	自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧 (参考様式第イ号)	✓	20台 確認済み
運転者数	自家用有償旅客運送に従事する運転者の一覧 (参考様式第ロ号)	✓	登録20人 確認済み
運行管理体制	運行管理の体制等を記載した書類(様式第7号)	✓	確認済み
輸送実績	運行記録	✓	確認済み
事故発生件数	0	✓	該当なし
苦情件数	0	✓	該当なし
備考欄			

運送主体名 庄内地区社会福祉協議会

代表者 安間 清弘 様

令和7年4月10日

上記の書類を、運行状況報告書と共に確認しました。

担当課

交通政策課

三輪 光司 

ノッカー庄内運行状況等報告

庄内地区社会福祉協議会

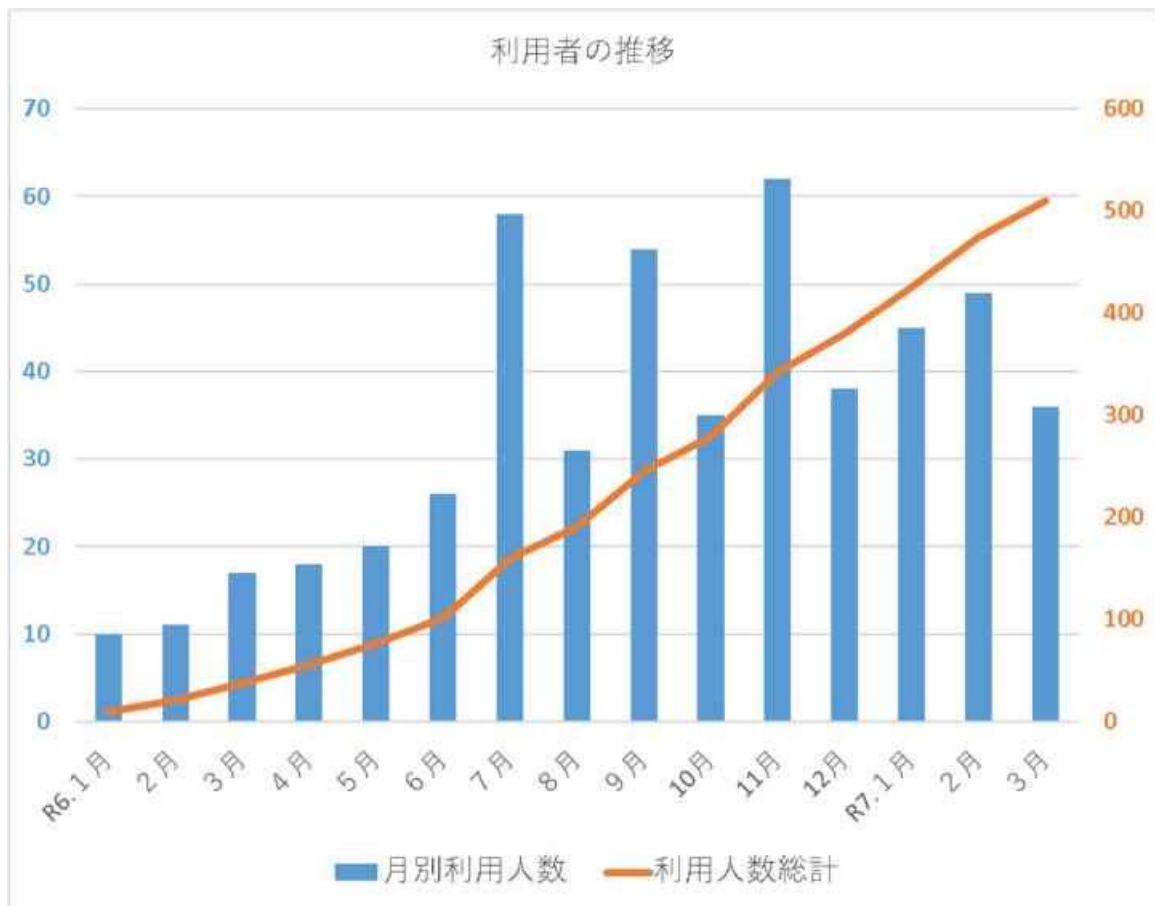
〈利用者数〉 総計 508 人

無料運行期間（R6.1月～3月） 計 38 人

	1月	2月	3月
利用者数	10人	11人	17人

有料運行開始後（R6.4月～R7.3月） 計 472 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	18人	20人	26人	58人	31人	54人	35人	62人	38人	45人	49人	36人



〈利用者アンケート〉 R6.1月～R7.3月

回答数 454 （利用目的：通院 324、習い事 51、イベント・レジャー19、
買物 9、家族・友人と会う 8、その他 43）

〈運行先〉

庄内地区内の移動	運行回数	近隣バス停への移動	運行回数	JR駅への移動	運行回数
庄内町⇔村櫛町	61	村櫛町⇔すじかい橋	38	庄和町→舞阪駅	8
庄和町→村櫛町	59	庄和町→山崎バス停	2	庄内町→舞阪駅	1
村櫛町⇔村櫛町	59	白洲町→すじかい橋	2	庄内町→弁天島駅	1
協和町⇔舘山寺	53	舘山寺→すじかい橋	1		
舘山寺⇔舘山寺	52				
村櫛町⇔舘山寺	29				
協和町⇔庄内町	21				
白洲町→庄内町	16				
舘山寺→庄和町	5				
村櫛町⇔協和町	5				
村櫛町⇔平松町	4				



運行状況報告書
(令和6年10月～7年3月末)



令和7年4月10日

浜松市地域公共交通会議
会長様

所在地 浜松市天竜区佐久間町佐久間 429 番地の 1
運送主体名 特定非営利活動法人 がんばらまいか佐久間
代表者名 理事長 大見 芳



以下のとおり報告します。

報告事項	報告内容		備考(提示書類)
会員登録者数	1,502 人		運送をしようとする旅客の名簿 (参考様式第イ号)
使用車両数	バス (乗車定員 11 人以上)	2 両	() 内には軽自動車 自動車登録簿(参考様式第 10 号)
	普通自動車 (乗車定員 11 人未満)	()	
	合計	2 両 ()	
損害賠償措置状況			
運送の対価	前回提出の「料金表」の通り		
運転者数	5 人		運転者台帳(参考様式第二号)
研修、講習等の実施状況	事業所内安全講習会 4 受講		
管理運営体制	別添「運行管理の体制等を記載した書類」(様式第 6 号) のとおり		安全な運転のための確認表 (参考様式第ロ号) 乗務記録(参考様式第八号)
輸送実績	運送回数	829 回	乗務記録(参考様式第八号)
	運送人員	970 人	
	収入	736,500 円	
事故発生件数	0 件(うち 件は発生時に報告済み)		事故の記録(参考様式第八号)
苦情件数	0 件(うち 件は発生時に報告済み)		苦情処理簿(参考様式第ト号)

運行状況報告書にかかる提示書類確認書

(令和6年10月～令和7年3月末分)

報告事項	提示書類	確認欄	特記事項又は提案事項等 (前回との相違点)
会員登録者数	旅客名簿 (参考様式第1号)	✓	対前期(R6.4～R6.9) 99人減 確認済
使用車両	自動車登録簿 (参考様式第10号)	✓	2台 確認済み
運転者数	運転者台帳 (参考様式第二号)	✓	登録5人 確認済み
運行管理体制	安全な運転のための 確認表(参考様式口号)	✓	確認済み
輸送実績	乗務記録 (参考様式第八号)	✓	確認済み
事故発生件数	事故の記録 (参考様式第八号)	✓	該当なし
苦情件数	苦情処理簿 (参考様式第ト号)	✓	該当なし
備考欄 ・ 年会費 1,200円/世帯			

運送主体名 特定非営利活動法人 がんばらまいか佐久間

代表者 理事長 大見 芳 様

令和7年4月10日

上記の書類を、運行状況報告書と共に確認しました。

担当課

 天竜区 まちづくり推進課 計画交通G 清水 将司

 古川 成規

令和6年度 後期集計表

6年10月～7年3月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期計	
料	運行日数 ^{2台}	日	22	22	20	19	18	20	121
	運行回数	回	142	127	149	105	152	154	829
	輸送人員	人	170	144	171	129	171	185	970
	(内同乗者	人	28	17	22	24	19	31	141
	(内予約	回数	73	65	94	61	77	73	443
金	運行料金	円	120,700	113,000	139,900	98,600	132,300	132,000	736,500
	内タクシー券	16	8,000	21,000	1,500	1,500	105,000	2412,000	5427,000
	チップ								0
計	円	120,700	113,000	139,900	98,600	132,300	132,000	736,500	
地区別	浦川	回	67	65	60	63	76	63	394
	佐久間	:	51	34	53	30	58	64	290
	山香	:	22	21	19	6	14	21	103
	城西	:	2	7	17	6	4	6	42
	町外								0
	計	回	142	127	149	105	152	154	829
時間帯	7時台	回	9	6	4	8	6	3	36
	8時台	:	11	13	21	10	11	13	79
	9時台	:	28	17	23	22	20	27	137
	10時台	:	32	18	23	21	20	25	139
	11時台	:	26	15	22	14	26	30	133
	12時台	:	15	15	13	11	12	13	79
	13時台	:	11	11	24	9	18	21	94
	14時台	:	7	22	12	8	21	14	84
	15時台	:	2	10	6	2	16	8	44
	16時台	:	1	0	1	0	2	0	4
	17時台	:	0	0	0	0	0	0	0
	計	回	142	127	149	105	152	154	829
乗車場所	自宅	回	60	54	65	44	65	65	353
	病市内	:	38	44	40	26	45	38	231
	院市外	:	5	2	3	4	2	2	18
	金融機関	:	8	5	8	5	6	12	44
	公共機関	:	7	5	5	4	6	5	32
	商店	:	18	11	13	17	12	19	90
	駅	:	2	6	5	1	5	4	23
	その他	:	4	0	10	4	11	9	38
計	回	142	127	149	105	152	154	829	
降車場所	自宅	回	68	65	74	54	76	73	410
	病市内	:	38	43	42	24	46	43	236
	院市外	:	7	2	2	4	4	1	20
	金融機関	:	8	6	10	4	6	13	47
	公共機関	:	7	4	5	4	5	5	30
	商店	:	9	5	5	10	4	9	42
	駅	:	2	2	0	1	1	1	7
	その他	:	3	0	11	4	10	9	37
計	回	142	127	149	105	152	154	829	
その他	実送時間	分	1,394	1,366	1,761	1,167	1,519	1,490	8,697
	実送距離	Km	639	634	866	590	725	713	4,167
	走行距離	Km	1,599	1,650	1,990	1,450	1,745	1,635	10,069
	ガソリン	L	146.6	119.5	165.41	113.9	125.61	126.3	797.32
	ガソリン代	円	25,270	14,646	28,943	20,635	23,077	23,174	135,745

過疎地有償運送 がんばらまいか佐久間 運行管理係

『NPO法人がんばらまいか佐久間』公共交通空白地有償運送 月別利用状況(令和6年度後期)

■運行状況

※有償運送のみ

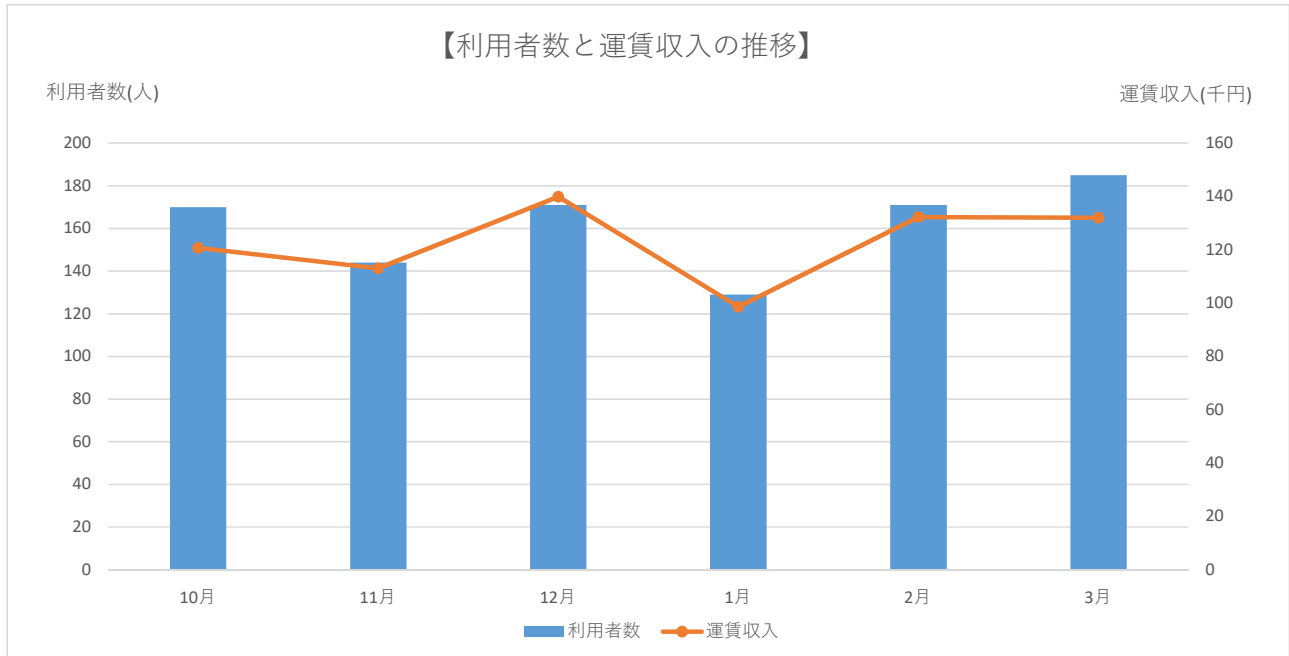
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数(日)	22	22	20	19	18	20	121
運行回数(回)	142	127	149	105	152	154	829
利用者数(人)	170	144	171	129	171	185	970
運賃収入(円)	120,700	113,000	139,900	98,600	132,300	132,000	736,500

■運行状況(昨年度参考)

※有償運送のみ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数(日)	21	20	20	19	19	20	119
運行回数(回)	172	161	182	131	148	141	935
利用者数(人)	202	196	228	159	181	175	1141
運賃収入(円)	136,400	127,000	137,700	114,400	126,000	130,200	771,700

■利用者数と運賃収入の推移



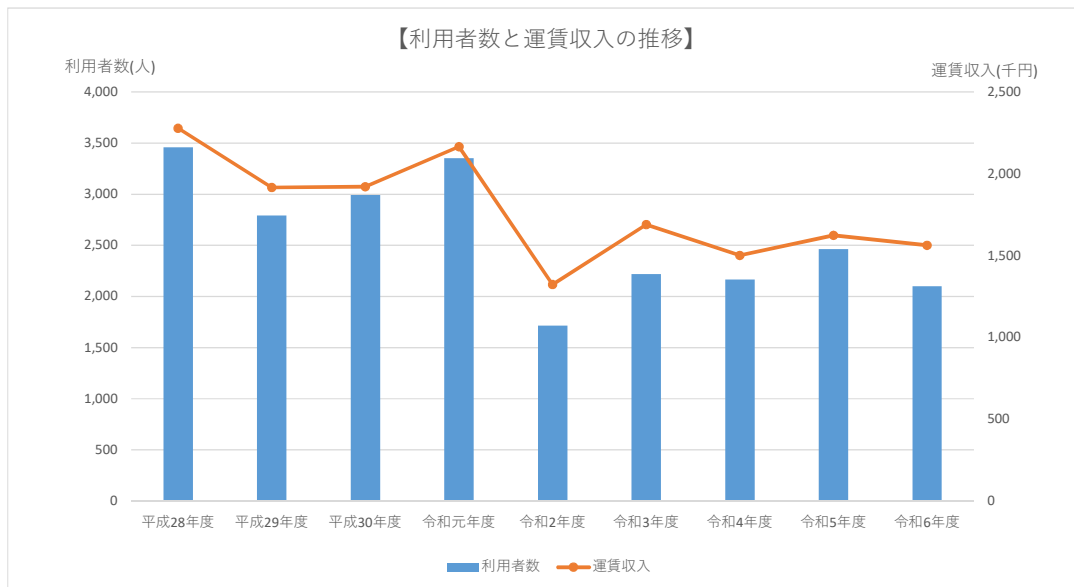
『NPO法人がんばらまいか佐久間』公共交通空白地有償運送 利用状況

■運行状況

※有償運送のみ

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運行日数(日)(a)	243	247	252	246	180	245	245	243	246
運行回数(回)(b)	2,823	2,367	2,506	2,745	1,523	1,823	1,780	2,021	1,756
運賃収入(円)(c)	2,278,500	1,916,300	1,921,400	2,165,400	1,322,900	1,689,200	1,501,500	1,623,800	1,563,100
利用者数(人)(d)	3,459	2,791	2,992	3,352	1,715	2,219	2,164	2,465	2,102
1日あたり運行回数 (e)=(b)/(a)	11.6	9.6	9.9	11.2	8.5	7.4	7.3	8.3	7.1
1日あたり運賃収入 (f)=(c)/(a)	9,376.5	7,758.3	7,624.6	8,802.4	7,349.4	6,894.7	6,128.6	6,682.3	6,354.1
1日あたり利用者数 (g)=(d)/(a)	14.2	11.3	11.9	13.6	9.5	9.1	8.8	10.1	8.5

■利用者数と運賃収入の推移





協議会様式第2号

運行状況報告書

No. (令和6年10月～令和7年3月末)

令和7年4月10日

交通空白地有償運送運営協議会長 様

所在地 浜松市天竜区春野町宮川 1768 番地
運送主体名 特定非営利活動法人 春野の光がお
代表者名 理事長 森下 廣隆

以下のとおり報告します。

報告事項	報告内容		備考 (提示書類)
会員登録者数	637 人		運送をしようとする旅客の名簿 (参考様式第1号)
使用車両数	バス (乗車定員 11 人以上)	0 両	() 内には軽自動車 自動車登録簿 (参考様式第 千号)
	普通自動車 (乗車定員 11 人未満)	2 両 (うち 0 両)	
	合計	2 両 (うち 0 両)	
損害賠償措置状況	別添「自動車登録簿」(参考様式 第千号) のとおり		
運送の対価	別添「料金表」 のとおり		
運転者数	2 人		運転者台帳 (参考様式第二号)
研修、講習等 の実施状況	令和7年2月21日実施		
管理運営体制	別添「運行管理の体制等を記載し た書類」(様式第6号) のとおり		安全な運転のための確認表 (参考様式第千号) 乗務記録 (参考様式第八号)
輸送実績	運送回数	517 回	乗務記録 (参考様式第八号)
	運送人員	593 人	
	収入	495,000 円	
事故発生件数	0 件 (うち 件は発生時に報告済み)		事故の記録 (参考様式第千号)
苦情件数	0 件 (うち 件は発生時に報告済み)		苦情処理簿 (参考様式第千号)

運行状況報告書にかかる提示書類確認書

(令和6年10月～令和7年3月末分)

報告事項	提示書類	確認欄	特記事項又は提案事項等 (前回との相違点)
会員登録者数	旅客名簿 (参考様式第イ号)	✓	対前期(R6.4～R6.9) 637人 確認済み
使用車両	自動車登録簿 (参考様式第10号)	✓	2台 確認済み
運転者数	運転者台帳 (参考様式第二号)	✓	登録2人 確認済み
運行管理体制	安全な運転のための 確認表(参考様式ロ号)	✓	確認済み
輸送実績	乗務記録 (参考様式第八号)	✓	確認済み
事故発生件数	事故の記録 (参考様式第へ号)	✓	該当なし
苦情件数	苦情処理簿 (参考様式第ト号)	✓	該当なし
備考欄 ・ 年会費 1,200円/人			

運送主体名 特定非営利活動法人 春野のえがお

代表者 理事長 森下 廣隆 様

令和7年4月10日

上記の書類を、運行状況報告書と共に確認しました。

担当課

天竜区 まちづくり推進課 計画交通G 清水 将司

古川 成規

令和6年度 NPOタクシー運行状況

〈NPOタクシー〉

月	運行可能日数	実運行日数	運行回数	乗車人数	運行距離	利用料金	実利用人数
4月	17日	16日	91回	110人	1,509.5km	89,500円	
5月	18日	17日	83回	99人	1,343.9km	82,500円	
6月	16日	15日	75回	95人	1,219.4km	76,000円	
7月	18日	17日	73回	93人	1,201.8km	69,400円	
8月	18日	12日	61回	74人	950.7km	59,900円	
9月	16日	16日	77回	90人	1,070.3km	69,800円	
10月	19日	19日	128回	144人	1,604.8km	113,800円	
11月	17日	17日	119回	142人	1,704.6km	112,900円	
12月	16日	16日	95回	109人	1,453.1km	96,200円	
1月	16日	14日	54回	69人	804.7km	52,900円	
2月	15日	13日	70回	74人	1,058.1km	65,800円	
3月	15日	13日	51回	55人	862.2km	53,400円	
計	201日	185日	977回	1,154人	14,783.1km	942,100円	

(運行形態)

運行日 火曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)

運行時間 午前7時から午後5時

利用料金 料金表による(2km未満500円、以降1km当たり100円増)

〈令和5年度 NPOタクシー運行状況〉

年度	運行可能日数	実運行日数	運行回数	乗車人数	運行距離	利用料金	実利用人数
令和5年度	215日	195日	859回	1,262人	13,687km	865,000円	70人

(運行形態)

運行日 火曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)

運行時間 午前7時から午後5時

利用料金 料金表による(2km未満500円、以降1km当たり100円増)

項目	〈令和6年度〉	〈令和5年度〉
実運行日数／運行可能日数	92.04% (185日／201日)	90.7% (195日／215日)
運行回数／運行可能日数	4.86回／日 (977回／201日)	4.00回／日 (859回／215日)
運行回数／実運行日数	5.28回／日 (977回／185日)	4.41回／日 (859回／195日)
乗車人数／運行回数	1.18人／回 (1,154人／977回)	1.47人／回 (1,262人／859回)
運行距離／運行回数	15.13km／回 (14,783km／977回)	15.93km／回 (13,687km／859回)
利用料金／運行回数	964円／回 (942,100円／977回)	1,007円／回 (865,000円／859回)

『NPO法人春野のえがお』公共交通空白地有償運送 月別利用状況(令和6年度後期)

■ 運行状況

※有償運送のみ

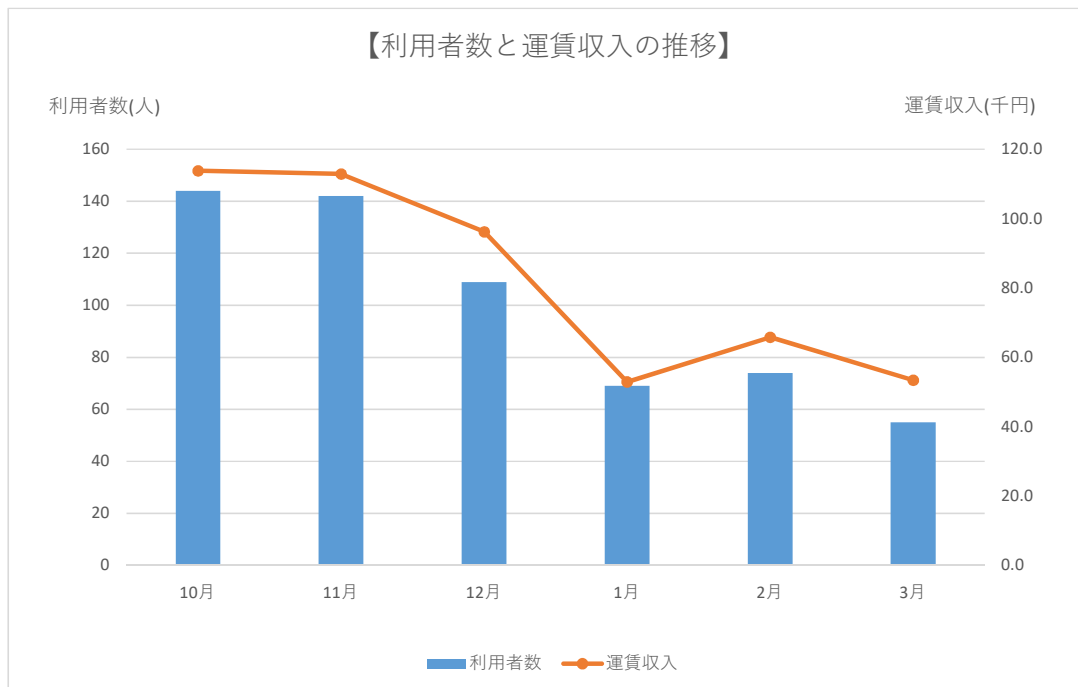
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数(日)	19	17	16	14	13	13	92
運行回数(回)	128	119	95	54	70	51	517
利用者数(人)	144	142	109	69	74	55	593
運賃収入(円)	113,800	112,900	96,200	52,900	65,800	53,400	495,000

■ 運行状況(昨年度参考)

※有償運送のみ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数(日)	19	15	17	14	15	13	93
運行回数(回)	84	73	102	78	94	69	500
利用者数(人)	138	119	156	96	132	82	723
運賃収入(円)	83,600	67,700	97,300	79,500	96,700	68,000	492,800

■ 利用者数と運賃収入の推移



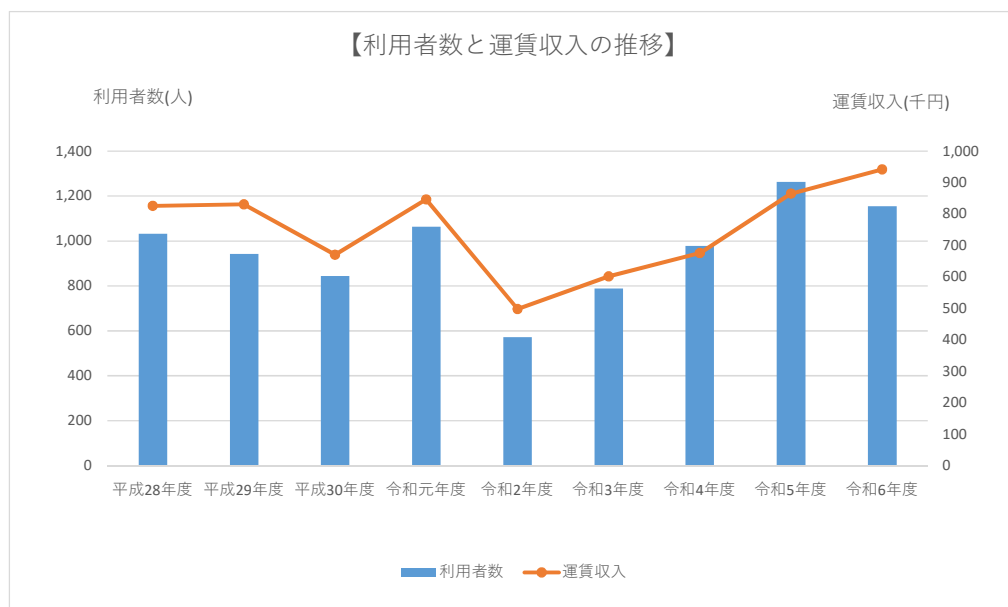
『NPO法人春野のえがお』公共交通空白地有償運送 利用状況

■運行状況

※有償運送のみ

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運行日数(日)(a)	188	185	173	192	144	155	167	195	185
運行回数(回)(b)	749	762	669	771	449	539	595	859	977
運賃収入(円)(c)	826,000	831,000	670,800	846,200	498,000	601,800	676,200	865,000	942,100
利用者数(人)(d)	1,032	943	844	1,064	572	789	978	1,262	1,154
1日あたり運行回数 (e)=(b)/(a)	4.0	4.1	3.9	4.0	3.1	3.5	3.6	4.4	5.3
1日あたり運賃収入 (f)=(c)/(a)	4,393.6	4,491.9	3,877.5	4,407.3	3,458.3	3,882.6	4,049.1	4,435.9	5,092.4
1日あたり利用者数 (g)=(d)/(a)	5.5	5.1	4.9	5.5	4.0	5.1	5.9	6.5	6.2

■利用者数と運賃収入の推移



令和7年6月26日

引佐地域バス（いなさみどりバス）のバス停廃止について

浜名区北行政センター

浜松市総合交通計画に基づき、令和6年10月から実施してきました「引佐地域バス」（愛称：いなさみどりバスなおとら線）の運行改善について、会議設置要綱第13条に基づき軽微な変更を行ったので報告いたします。

記

1 変更の概要

いなさみどりバスなおとら線のバス停の廃止
バス停名「引佐赤十字病院」

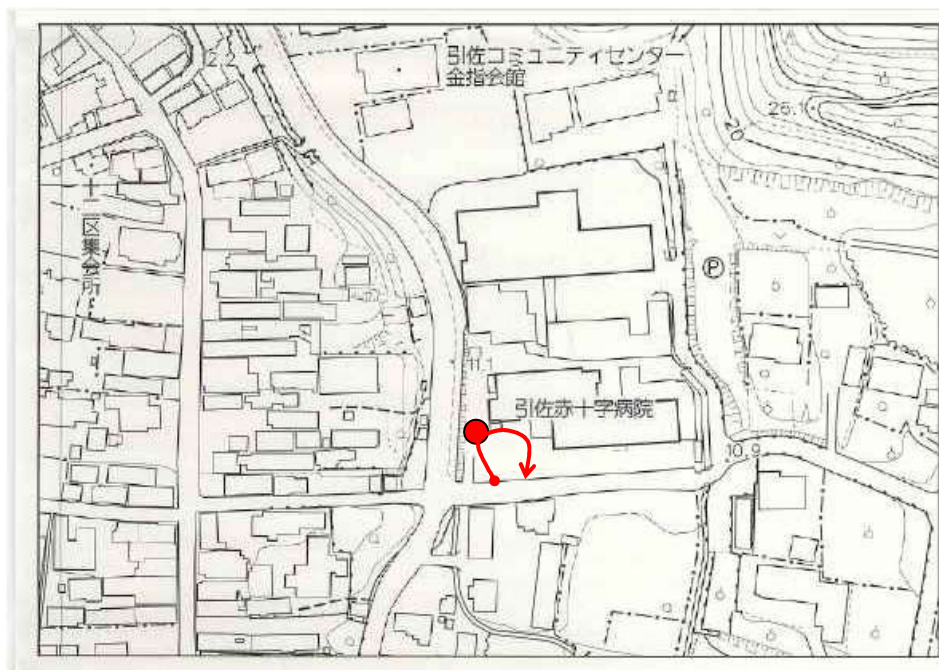
2 廃止時期

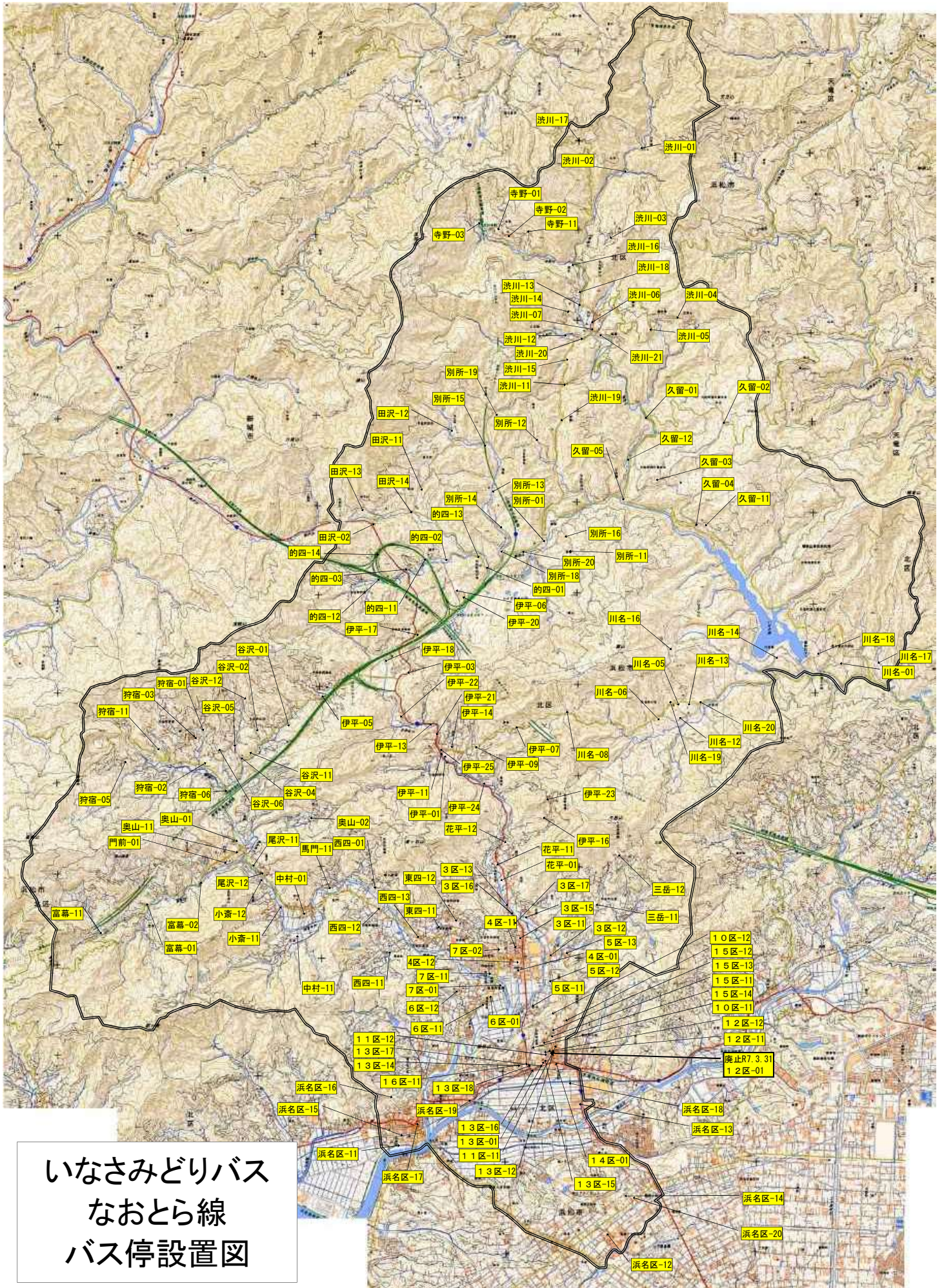
令和7年4月1日より

3 廃止理由及び内容

令和7年3月31日の引佐赤十字病院の閉院により、現在バス停を設置している場所が利用できなくなりました。令和6年11月以降に利用者はなく、近隣には、金指コミュニティセンターや12区集会所などのバス停があることから、本バス停を廃止しました。場所については、下記地図を参照願います。

尚、このことは、令和7年3月5日開催の引佐地域交通検討会において、了承済みです。





いなさみどりバス
 なおとら線
 バス停設置図

令和7年6月26日

「浜北地域バス」バス停留所標識移設について

浜名区まちづくり推進課

浜松市総合交通計画に基づき、令和5年10月から実施してきました「浜北コミュニティバス」の改善運行について、軽微な変更を行ったため報告いたします。

記

1 変更概要

浜北地域バス 大平堀谷線 「宮口駅」バス停留所標識の移設

2 移設時期

令和7年4月11日から

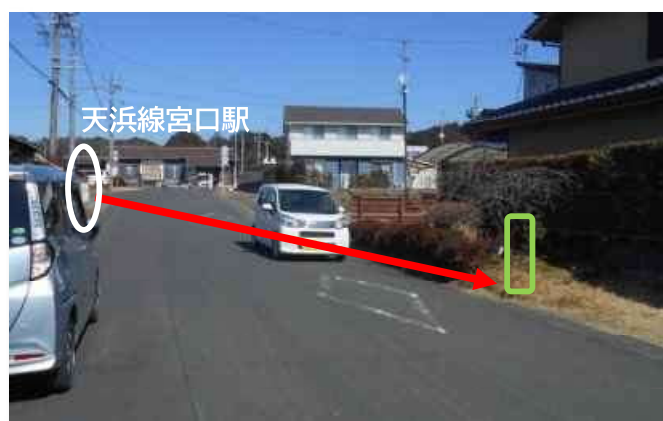
3 移設理由

停留所標識の留置先土地所有者の都合により、やむを得ず停留所を移動するため。
なお、浜北地域交通検討会にて協議・承認済です。

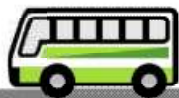
4 移設する停留所の場所

別添のとおり

路線名 系統名	浜北コミュニティバス 大平堀谷線	
停留所名称	宮口駅	設置場所
移設変更前	浜松市浜名区宮口上ノ前100番地4 (民地)	道路外
移設変更後	浜松市浜名区宮口107番地1地先(主要地方道68号浜北三ヶ日線)	道路上



バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka Project

～2025小学生バス無料デーの実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)

背景と目的、目指す姿

背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な乗合バス利用者の減少
- ・バスドライバーの高齢化による運転手不足への危機感



目的

- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、社会全体で「乗って残す」意識を啓発
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに乗せたいと思う保護者の増加



バス利用頻度の増加



2024実施結果

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、
県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した。
(小学生を対象とした全県規模の実施は全国初)

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童)
実施日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員：国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

2

2024実施成果と課題

成果

- ◆無料デー当日のバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加(子どもの利用者は前週、翌週の約4倍)
- ◆バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない(今までに3～5回以下)小学生が44%、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%を占めた
- ◆今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占め、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ◆バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答、満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最多
- ◆バスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答 (資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)

◆普段マイカー利用が多い小学生及びその保護者が、無料デーにバスを利用する等、バス利用の体験機会を提供することができた

◆バス利用の呼びかけや小学生アンケートの実施により、バスへの意識や関心を高めることができた

【県活性化協議会(R7.3.14)有識者意見より】

将来に向けた更なる利用促進にも繋がる取組であり、効果検証しながら続けていくことが必要

3

2024実施成果と課題

課題

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆小学生の約4割が無料デーを「知らなかった」と回答
(回答者がいなかった小学校は更に認知度が低い可能性あり) ◆情報入手経路は、小学生、保護者等とも学校を通じて知った人が大半 ◆当日、リーフレットを忘れた人や無料デーを知らない人が多数存在 ◆バス運転士が不足している状況については、7割以上の保護者等が認知、小学生の認知度は半数以下
<small>(資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)</small> | <ul style="list-style-type: none"> ◆学校から児童（保護者）への周知方法の工夫・改善や、学校以外の情報入手経路を強化する必要性 ◆無料デーの実施によるバス利用の意識、行動の変化の継続的な測定及び検証 |
|---|--|

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

一過性のイベントで終わらせないために、持続可能なスキームの構築の必要性

4

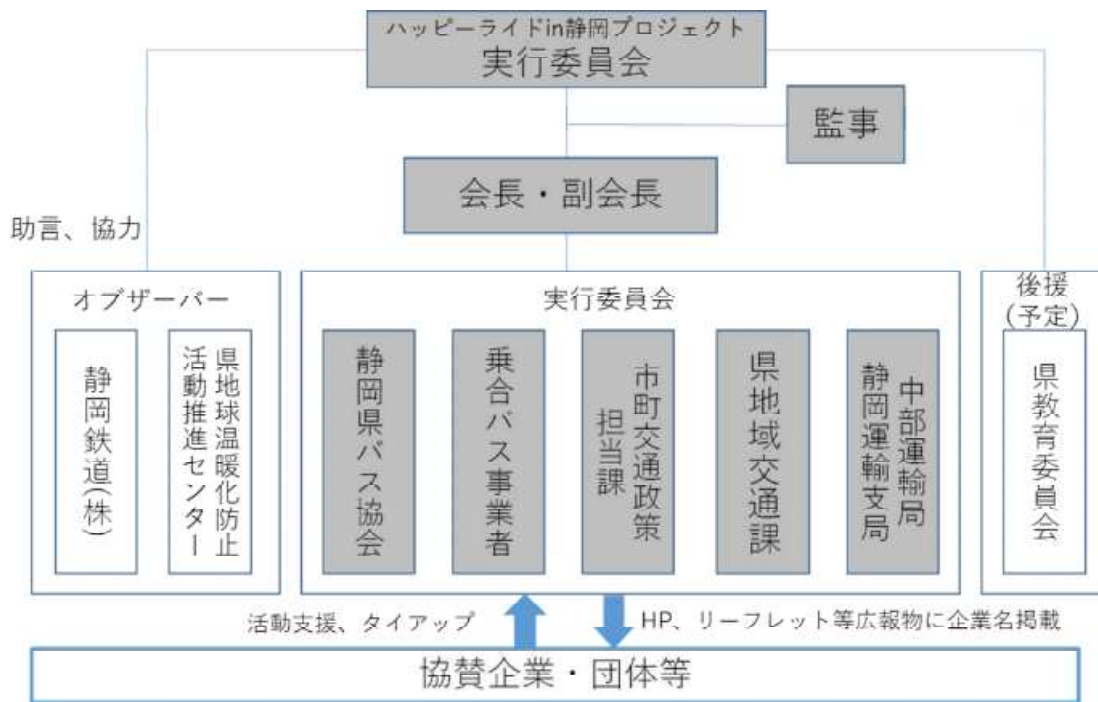
2025バス無料デーの新たな取組

内容

広報強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆無料デー特設サイトの開設 ◆周知用掲示物（ポスター等）の作成 ◆実行委員会構成員による一体的な広報の実施 (一斉プレスリリースの実施、車内広告、子育て支援施設、自治会回覧板等での周知等) ◆バスの日と連動した無料デーの告知 ◆大型商業施設等への広報協力依頼 (例：イオン、ららぽーと、サントムーン、コンビニ各店舗等)
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆プロジェクトへの協賛企業・団体（スポンサー）の募集 ◆教育委員会の後援名義取得
学校との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業での活用を依頼 (教材提供※～リーフレット配布～無料デー利用によるバス乗車実体験～WEBアンケート) ◆県校長会理事会での協力依頼 <p>※バスの乗り方やマナーを学べる動画を作成予定</p>

5

2025バス無料デーの実施体制(組織図)



6

2025実施計画

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童) ※R6実績を仮置き
実施日	令和7年12月13日(土)～14日(日) 2日間
利用方法	リーフレットをバス運転士に提示
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員：国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター
協賛企業・団体	<u>(今後、募集)</u>
後援	<u>県教育委員会(今後、名義取得予定)</u>

7

実施計画(案) スケジュール

月日	内容
5月12日	実行委員会（第1回）の開催、実施計画の決定
5月中旬	各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を发出 ※4/25県校長会理事会での説明済（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、タイアップイベント企画の募集
～8月下旬	周知用広告物の作成配布、特設サイト公開
<u>9月中旬</u>	<u>プレスリリース①（バスに日に合わせた一斉広報）</u>
<u>11月</u>	各学校経由で小学生に無料デーリーフレットを発送 <u>プレスリリース②（直前の一斉広報）</u>
12月13～14日	小学生バス無料デーの実施、タイアップイベントの実施
～2月	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討

「静岡県小学生バス無料デー」実施結果の公表 ～子どもの利用は前週翌週の約4倍に～

(静岡県交通基盤部地域交通課)

1 概要

- ・令和6年12月7日(土)～8日(日)の2日間、「乗って、残す。」をコンセプトに、県内の学校に通う全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した
- ・子どものバス利用者数は、前週、翌週の約4倍となるなど、ふだんバスに乗車しない小学生がバスを利用する機会となった

2 主な実施結果

(1) 利用者数

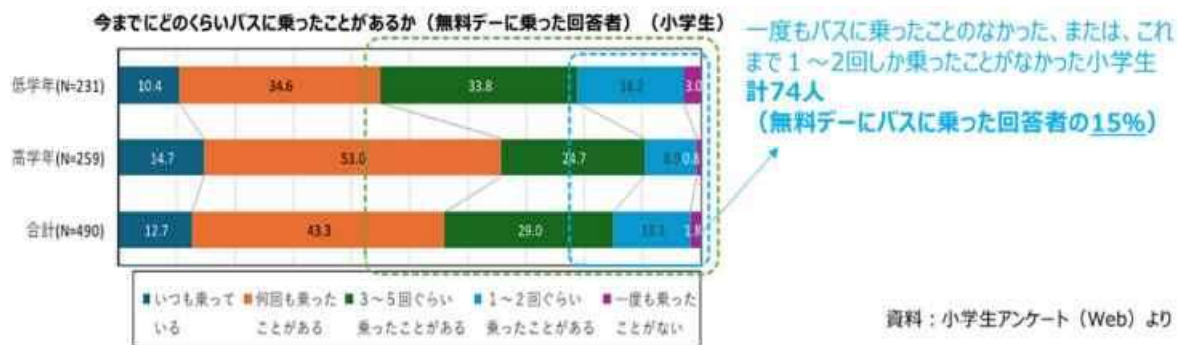
- ・バス事業者からの報告による無料デーのバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加
- ・特に子どもの増加が顕著で、前週、翌週の約4倍



※乗車人員(大人、子ども)は無料デー当日の人数把握ができた路線の合計値

(2) 利用促進効果

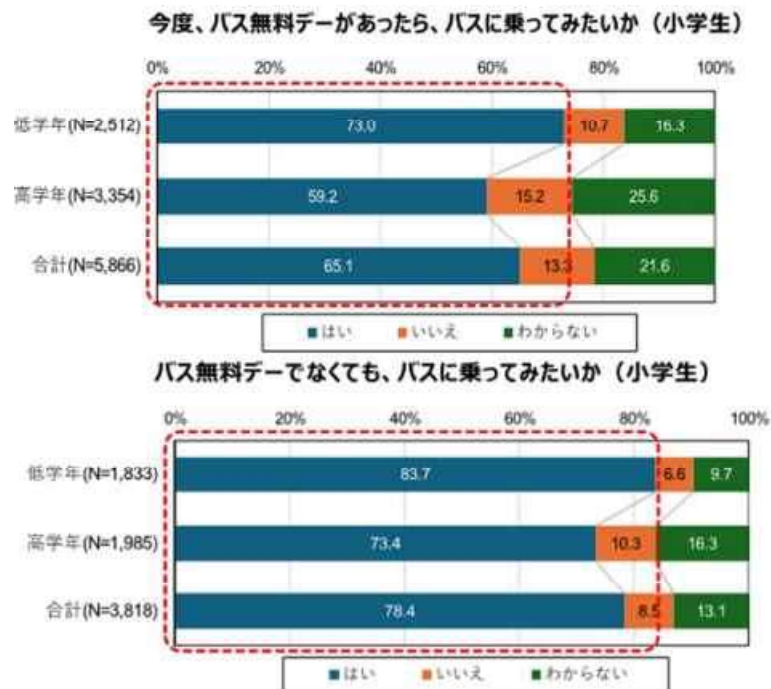
- ・バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない(今までに3～5回以下)小学生が44%を占めた
- ・そのうち、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%だった
- ・以上の結果から、ふだんあまりバスを利用しない小学生に、バス利用を体験する機会を提供できたと考えられる



（3）利用意向・意識の変化

①小学生

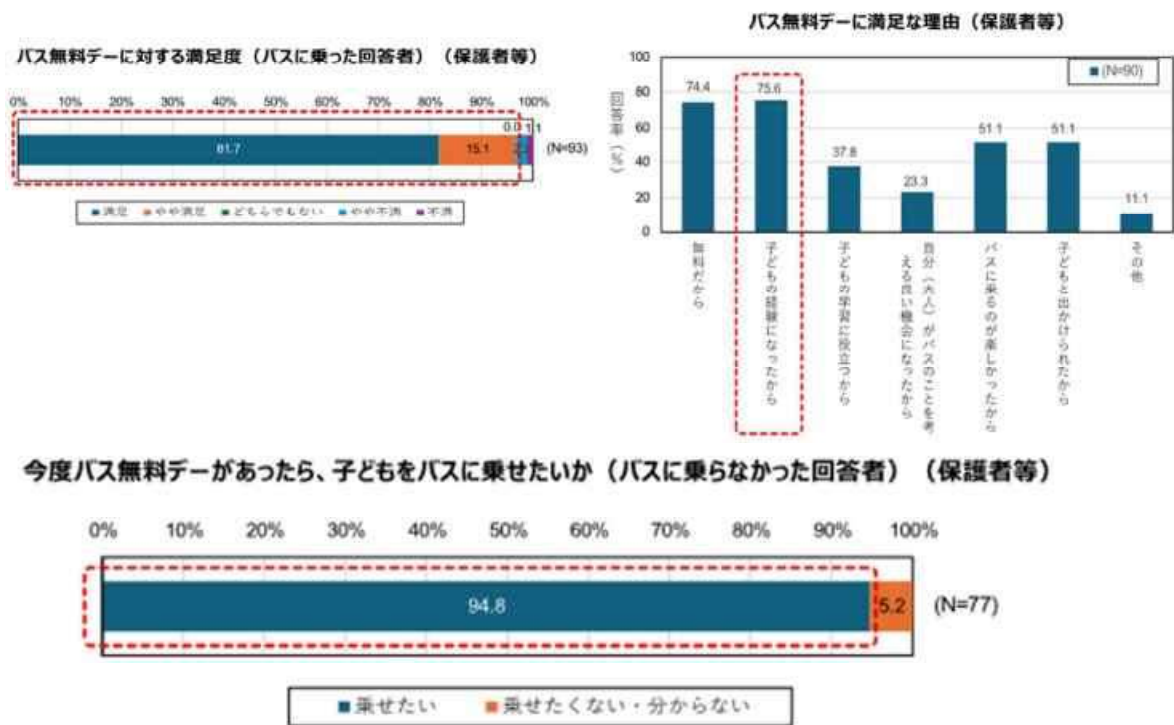
- ・ 今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占めた
- ・ このうち、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ・ 以上の結果から、事前広報を含めバス無料デーが、小学生のバスに対する関心や利用意識の醸成に寄与したものと考えられる



資料：小学生アンケート（Web）

②保護者等

- ・バス無料デーに（小学生と一緒に）バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答
- ・満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最も多く、保護者もバス無料デーが、子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識
- ・今回のバス無料デーにはバスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答
- ・以上の結果から、保護者もバス無料デーが子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識していると考えられる



資料：保護者等アンケート（Web）

以上は、調査時点の結果であり、今後の行動変容につながるかどうかは継続した取組及び調査が必要

参考

【イベント概要】

1 実施日

令和6年12月7日（土）～8日（日）

2 対象者

静岡県内の学校に通う小学生（約173,000人）

3 利用方法

運賃を支払う代わりにリーフレットをバス運転士に提示

4 対象路線

静岡県内を運行する路線バス・静岡県内のコミュニティバス
（対象外路線 土日運休路線、高速道路を走行する路線、空港アクセス線など）

5 主催

ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会

（構成団体）

国、県、市町、（一社）静岡県バス協会

しずてつジャストライン(株)、遠州鉄道(株)、(株)東海バス、伊豆箱根バス(株)、
富士急静岡バス(株)、富士急シティバス(株)、富士急モビリティ(株)、富士急バス(株)、
秋葉バスサービス(株)、山梨交通(株)、(株)大鉄アドバンス、日本平自動車(株)

6 協力団体

静岡鉄道(株)、県地球温暖化防止活動推進センター、（一社）静岡県自動車会議所
ほか16団体

7 特別協賛

静岡ブルーレヴズ(株)



【PR用ロゴマーク】

これまで

市：キャッシュレス決済や低床バス導入など利便性促進策を支援
燃料高騰や中山間地のバスを除き運行支援はしていない。

遠鉄：観光バスなどバス事業全体で収益確保を目指すも、利用者の少ない
路線は退出・減便などによる経費節減で対応



利用者の少ない路線の退出・減便が進む



令和5年度、自治会地元、市、遠鉄の三者で協定を締結し、路線退出を見送り

- ・市：運行支援
- ・地元：利用促進
- ・遠鉄：運行継続



利用者回復など一定の効果

現状

運転手不足、人件費・資材・燃料費の高騰

⇒ 路線バスを取り巻く状況が一層悪化



札幌や横浜など大都市でも大幅な路線減便や退出があるなど現状の維持困難



市：これ以上の路線退出や減便が進むと、本市の公共交通の維持は困難
現状の運行能力を維持し、利便性向上を図りたい



遠鉄：事業者単独での事業継続は困難
公共交通の維持という観点においては、これ以上の路線退出や減便
は困難

中長期的にはバス路線の再編など持続可能な路線バスの整備が必要



持続可能な公共交通の確立に向けて取り組むため、市と遠鉄が協定を締結

○持続可能な公共交通の確立に向けた取り組みの方向性

運行経費が増加し、運転手が不足する中、単純な新規の路線開設や増便は困難

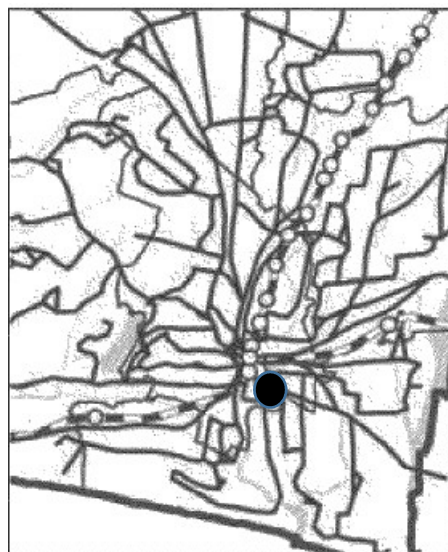


浜松市

協力して市内公共交通のリ・デザインに取り組む

遠州鉄道

路線バスの現況イメージ図



浜松駅を中心にバス交通網を形成
→浜松駅までの直行便が基本

R3.3浜松市公共交通網形成計画

検討の方向性

○他の交通モードとの連携強化

- バスと鉄道との連携
- 交通結節点の整備による自家用車、自転車等との連携
(パーク&ライド、サイクル&ライド等)

○バス路線の再編

- 幹線バス路線を中心としたバス路線の統合・集約化
- 定時性・速達性の確保

など

実証実験等

課題の抽出・整理

リ・デザインの実現

2025年6月26日

遠州鉄道株式会社
運輸事業部

遠州鉄道 路線バス運賃改定の申請について

1 趣旨

遠州鉄道(株)が路線バスの旅客運賃上限変更認可申請を国に行ったことについて報告するもの。

2 改定内容

(1) 認可申請日

2025年6月23日 ※運賃改定実施日 2025年11月1日(予定)

(2) 改定理由

・物価の高騰や車両更新費用の増加に加え、慢性的な乗務員不足を解消するための要員確保に伴う人件費等、増大する運行経費への対応。

上記に対応し、将来にわたり安全で利便性の高い公共交通サービスを維持するため、経営努力に加えて運賃の改定による収支改善が必要不可欠と判断したため。

(3) 改定内容

① 実施運賃 (上限運賃の範囲内で国に届け出る実際の運賃)

改定率 10.7%

・初乗運賃 150円→180円、+30円、以降 +30円～+50円

[定期券の割引率の変更]

<通勤定期券> 現行 31.0%を維持 <通学定期券> 現行 40.0% → 改定後 44.0%

通学定期券の割引率を引き上げることで改定率を抑制

② 上限運賃 (国の認可を受ける上限の運賃)

・賃率 48.0円 → 54.9円へ変更

3 今後の予定

国土交通省による審査を経て「上限運賃」の認可を頂いたのちに運賃改定を実施。

区分	浜松駅バスターミナルからの運賃		
	現行	改定後	増減
市役所前	150	180	30
西遠学園	190	220	30
浜松北高	200	230	30
浜松商業高校	230	260	30
せいれい病院	260	290	30
医療センター	290	330	40
イオンモール浜松市野	350	390	40
イオンモール浜松志都呂	430	470	40
浜工高前	460	500	40
医科大学	510	550	40
聖隷三方原病院	580	620	40
三ヶ日	750	800	50